

『さっきやま魂』

R4. 2. 7 第20号

発行人：校長 中山 未永

「崎山」はどこ？

「崎山小学校は、どこかなあ？」

「ここじゃない？」

児童玄関に掲示された地図『五島列島ジオパーク構想みどころマップ』を見ながら、自分たちの「ふるさと崎山」を真剣に探しています。ところが、なかなか見つけることができません。普段、じっくり地図を見ることのない子ども達にとっては、難しいことなのかもしれません。

先日、「五島列島ジオパーク」が、日本ジオパークに認定されたという嬉しいニュースがありました。崎山地区にも「神爪海岸」や「鑑瀬溶岩海岸」などのマグマの痕跡があり、自慢できる「ふるさとのお宝」といえます。

また、学校敷地内には、大きな火山弾もあります。以前勤務されていた校長先生が校区内を散策中に偶然発見し、保護者の方の協力によって本校に運び込まれたということです。地域の方に教えていただくまでは、気にとめることもなかった岩石ですが、これを機会に子ども達にも説明し、火山への興味関心を高め、ふるさとの魅力を再発見するきっかけになればと考えています。

崎山はどこ？



「崎山 No. 1 の大きさ・形」の火山弾

非常時の端末活用について

先日、五島市教育委員会より「非常時における一人1台端末の活用について」（別紙配布）の文書が届きました。これは、校内で感染者が確認され、「臨時休校」等の措置がとられた場合のオンライン学習の可能性について示したものです。

家庭でのオンライン学習に向けて、1学期に各家庭の通信環境等のアンケートが実施され、市教委において検討されてきたところでした。しかし、通信環境の整備や児童の端末活用のスキル等を考えると、すぐに家庭でのオンライン学習を行うには厳しい状況といえます。

そこで、本校としては、「臨時休校」等になった場合は、各担任がプリント等の課題を配布し、家庭での学習をしっかりサポートしていきます。また、家庭での過ごし方や健康状態については、必要に応じて電話連絡を行い、生活リズムや感染対策の徹底を図りたいと考えています。

それに伴い、今回は「**端末を持ち帰り、家庭の通信環境に接続する**」ことも行わないこととします。今後、家庭でのオンライン学習の環境が整い次第、端末の持ち帰りを積極的に進め、一人一人の学びに応じた学習に役立てていきたいと思っております。

「14日」から「10日」へ

これまで、「感染対策強化期間」を14日と設定して感染対策を進めてきましたが、オミクロン株の実態から、国の方でも様々な見直しが行われています。

それに伴い、本校でも対策期間を**10日間に短縮**し、感染対策を講じた上で学校行事等の教育活動を実施していきたいと考えています。もちろん、期間を短縮しても、これまでの感染対策（マスク着用・手洗い・手指消毒・三密）を緩めることはありません。これからも、子ども達が安心して学校生活を送ることができるよう感染対策を徹底していきますので、今後とも保護者の皆様のご協力をお願いします。

まずは、玄関で消毒



体温も測れます！

